

油化ビジネス採算性の例(設備能力240<sup>トン</sup>/日)

Case	A	B
	廃プラ(PP/PE)	廃プラ(PP/PE)
	(廃プラ外部調達)	(廃棄物業兼業)
項 目	金 額 (円)	金 額 (円)
全投資金額(合計)	6,242,600,000	6,242,600,000
設備能力(トン/日)	240	240
軽油(相当)収率(%-L/Kg)	90%	90.0%
カーボンブラック(%-Kg/Kg)	5%	5.0%
油化装置一式(触媒方式)	4,802,000,000	4,802,000,000
土建、建屋、油タンク、他(@設備費の30%)	1,440,600,000	1,440,600,000
粗原料(廃棄物引取費)(円/トン)		-30,000
廃プラ原料化(%-Kg/Kg)		80.0%
原料化処理費(選別・チップ化、償却、含む利益)(円/トン)		20,000
原料費(円/トン)	5,000	-4,000
油価格(円/KL)	50,000	50,000
カーボンブラック(円/トン)	10,000	10,000
触媒使用量(%Kg/Kg-原料)	0.75%	0.75%
触媒単価(円/Kg)	350	350
稼働日数(日/年)	300	300
廃プラ原料必要量(トン/年)	72,000	72,000
熱分解油(軽油相当)(KL/年)	64,800	64,800
: (L/日)	216,000	216,000
単位原料当たりの設備投資(万円/トン)	2,601	2,601
投資採算性(円、年間当たり)	金 額(円/年)	金 額(円/年)
売上額-分解油(軽油相当)	3,240,000,000	3,240,000,000
-カーボンブラック	36,000,000	36,000,000
原料費	-360,000,000	288,000,000
触媒費	-189,000,000	-189,000,000
償却費(15年均一)	-416,173,333	-416,173,333
人件費(10人x3シフト,日勤5人,@450万円/年)	-157,500,000	-157,500,000
保守費(3%@設備費)	-187,278,000	-187,278,000
保険料(売上@0.5%)	-16,380,000	-16,380,000
管理費(売上@3%)	-98,280,000	-98,280,000
税引前利益(円/年)	1,851,388,667	2,499,388,667
フリーキャッシュフロー(円/年)	2,267,562,000	2,915,562,000
投資回収(年)	2.75	2.14
投資利回り(%@税引前利益/総投資額)	29.7	40.0

Note:

- 1) 計算例、Case-1: 油化装置原料を有価で外部調達する場合  
Case-2: 産廃業者(或いはJ.V)が己の調達・調整原料を使用し油化する場合  
原料前処理費(2万円/トン)は、全ての経費、投資等を含めた費用
- 2) 本体等設備費は、現状の概算価格、消費税なし
- 3) 原料の種類等により、投資額、収率の他、原料確保の難易度/価格、等により採算性は変わります